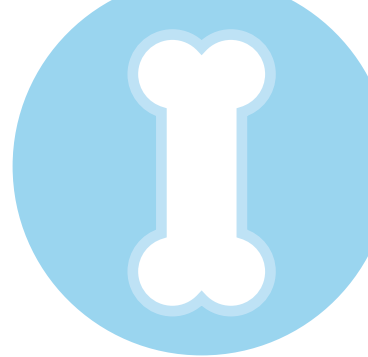


【骨粗しょう症リスク検査】

(尿中デオキシピリジノリン検査)



必ずお読みください

本検査は診断を目的とするものではありません。
採尿についての注意点
午前中の第二尿(その日2回目の尿)を採取ください。

以下の方は **検査対象外** となります

ホルモン治療中の方
腎機能に問題のある方
成長期の方

ステロイド剤服用中の方
妊娠授乳中の方
がん罹患中の方

ご不明な点などございましたら下記までご連絡ください(平日9:00~17:15)

TEL:0120-82-1213(H.U. POCKeT株式会社)



検査ってどんなことをするの？

尿中のデオキシピリジノリン(骨コラーゲンに含まれる物質)量を測定することにより骨の吸収状態(古くなった骨が分解される状態)を調べ、骨粗しょう症のリスクを調べます。



骨粗しょう症とは骨の代謝バランスが崩れ、もろくなった状態のことです。骨は骨芽細胞によって骨形成されると同時に破骨細胞によって骨吸収され、常に新しく作り直されるといふ新陳代謝(リモデリング)を繰り返しています。通常は骨吸収と新たな骨形成のバランスが保たれていますが、これが崩れて骨吸収が上回った状態が続くと骨量が減少してしまいます。その結果骨がもろくなり、容易に骨折するような状態になるのが、骨粗しょう症です。

引用：骨粗鬆症 | e-ヘルスネット(厚生労働省)(mhlw.go.jp)



検査って大切なんですね！

検査の概要は下記の通りです。

- 〔検 体〕 尿
- 〔必要日数〕 結果の報告は検体のご返送から約2週間
土・日・祝日を含む場合、必要日数よりかかる場合があります
- 〔容器保存〕 室温
- 〔返送方法〕 返信用封筒に検体と受付票を入れ郵便にて返送ください

※受付票には、住所・氏名・電話番号・生年月日・年齢・性別をご記入のうえ、アンケートにお答えください。

測定は株式会社エスアールエルが行います

